

入選

小さな親切は大きな感謝

香川県 中部中学校
1年 小西 凜

私が今年のゴールデンウィークに母と2人で、東京に住んでいる姉のところへ遊びに行った時のことです。

ゴールデンウィーク中でたくさんの人が駅にいて、駅員さんの周りには人が集まっていました。3人で電車の乗り換えで切符を買おうとしていると、外国人の方に「エクスキューズミー」と、話しかけられました。「キ・ヨ・ス・ミ・シ・ラ・カ・ワ」と、聞こえた気がしました。母も私も東京の地名に詳しくなく、どうしようかと思っていたとき、姉が「オーケー、キヨスミシラカワ?」と答えました。

どうも、東京には沿線がたくさんあり、ここからの電車では行けないらしくて、身振り手振りで乗る線を教えてあげていました。外国人のご夫婦は「センキュー」と、笑顔で去っていきました。姉のことがとってもかっこよく見えました。

私の頭の中で、「キヨスミシラカワ」のことはすっかり忘れていたのですが、録画していたドラマを観ていたとき、「^{きよすみしらかわ}清澄白河」の地名が、出てきたのです！思わず停止ボタンを押して、母に知らせました。あのときの外国人のご夫婦、無事に行けたかな？言葉も通じない異国で不安だったよなあ……。私たちに話しかけてくれて、教えてあげられてよかったなあ、親切をした喜びを思い出しました。

東京では、上野動物園にも行きました。初めて、生で見たパンダは、かわいくてふてぶてしくて、思っていたよりも白くなかったなあ、余韻^{よいん}にひとりながら駅に向かってしていると、前を歩いていた人のベビーカーから、タオルが落ちました。母が気づいて、走って届けに行きました。

お父さんとお母さんらしき人が、ぺこぺこ頭を下げて、母にお礼を言っているのがわかりました。母が「あの子のお気に入りの大事なタオルなんやって。」と言いました。私も気に入りのタオルがあるので、もしなくしてしまったら、ショックで大騒ぎしてしまいます。母もいいことしたなあ、と思いました。

楽しかった東京旅行から、現実に帰ってきて、もうすぐ観音寺駅に着くとき、降りようと電車の通路を歩いていると、帽子が落ちていました。私が先に歩いていたので、母の方を振り返ると、目で拾いなさいと訴えてきました。

私が拾って、座っている人に渡すと「ありがとう。」とにこっとして言ってくれました。「親切って、なんて気持ちがいいことなんだろう！」と思いました。

小さな親切というけれど、親切に大きさはないと思います。やろうと思えば、いつでも、どこでも、だれでもできるということがよくわかりました。小さな親切は、大きな感謝につながっていると思います。

私がこれまでに経験したり、見たりされたりした親切がどんどん広がっていったらいいな、と思いました。